

近畿学校保健学会通信

No.98

平成13年2月1日発行
近畿学校保健学会事務所
〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1
兵庫教育大学疫学健康教育学研究室
TEL&FAX (0795) 44-2180
振替口座 01140-8-89516

第48回 近畿学校保健学会のご案内

第48回近畿学校保健学会

学会長 三 野 耕

(兵庫教育大学 教授)

来る6月23日(土)に第48回近畿学校保健学会を兵庫教育大学において開催させていただきます。どうぞお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

今回の学会は、学会の発展だけでなく、教育現場や地域に根ざした学会にしたいと考えています。よって、学会の一部を地域への還元として公開し、発表方法も一般口演をポスター(横90cm×縦150cm)による展示方式に変え、できるだけ多くの方々と討議でき開示できるように考えてみました。

したがって、学校保健に関わる問題を解決するために会員すべてのものが一堂に会して十分な討議やコミュニケーションをしていただくためにこれまで午前中に行われていた一般発表を全日として、5分間の口演と全日のポスターによる展示を予定しています。一般発表の内容としては学校保健に関わる研究と実践に関わる発表を広く募集します。さらに、学校保健に関する諸問題について学校を取り巻く地域との連携を密にするための公開教育講演、ならびに特別講演とシンポジウムを予定しています。

公開教育講演では最近社会問題にもなっている17歳犯罪や不登校や学級崩壊などの児童・生徒の「心の問題」を取り上げ、「子どもたちの心の健康と学校の役割」について講演していただく予定です。この教育講演が、地域と学校の連携でもって子どもたちの「心の問題」の解決の糸口を見いだすための話題提供になることを期待しています。

特別講演では、現代社会の抱える様々な健康問題・社会問題の内でも最も危険であり、有害性の高いものの一つである薬物乱用について取り上げ、「薬物乱用防止教育の考え方と進め方」のテーマでこれからの薬物乱用防止教育についての提言になればと考えています。

シンポジウムでは、総合学習が平成14年度から学校教育に取り入れられることになり、現在各学校において総合学習の課題やその進め方について試行錯誤の段階から詰めの段階に入り、総合学習での学校保健に関わる課題も少なくありません。そこで、これまでに実践されてきた学校保健に関わる課題をもとにした総合学習の実践経験からこれからの総合学習について迫ってみようとするもので、『健康・安全に関わる「総合的な学習」の現状と展望』のテーマで討議していただこうと考えています。

学会場までの交通の便はよくはありませんが、この学会を一層発展させるために皆様方のご参加とご発表を心からお待ち申し上げます。

第48回近畿学校保健学会要項

主 催	近畿学校保健学会
後 援	兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 加西市教育委員会 三木市教育委員会 西宮市教育委員会 小野市教育委員会 西脇市教育委員会 加東郡教育委員会
協 賛	兵庫県医師会 兵庫県歯科医師会 兵庫県薬剤師会
学 会 長	三 野 耕 (兵庫教育大学 教 授)
学会事務局長	西 岡 伸 紀 (同 助教授)
事 務 局	〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学 生活・健康系教育講座 三野研究室内 第48回近畿学校保健学会事務局 電話&FAX: 0795-44-2182 (ダイヤルイン) e-mail: mino@life.hyogo-u.ac.jp
振 替 口 座	00920-1-2734 第48回近畿学校保健学会
期 日	平成13年 6月23日 (土)
会 場	兵庫教育大学 講堂 (兵庫県加東郡社町下久米942-1)
会 費	正会員は3000円 (年会費)、当日会員2000円 (学生・院生は半額)
日 程	受 付 9:30から 一般発表 10:00から16:00まで 評議員会 総 会 公開教育講演 「子どもたちの心の健康と学校の役割」 講 師 浅川 潔司 先生 (兵庫教育大学教授) 特別講演 「薬物乱用防止教育の考え方と進め方」 講 師 勝野 真吾 先生 (兵庫教育大学教授) シンポジウム 『健康・安全に関わる「総合的な学習」の現状と展望』 世話人 荒木 勉 先生 (兵庫教育大学教授) 五十嵐裕子 先生 (神戸大学発達科学部附属明石中学校教諭)
参加申込み	1 会員であるなしに拘わらず参加できます。当日参加の方 (研究発表しない方) の事前手続きは不要です。 なお、事前にプログラムを必要とする場合は返信用封筒 (宛名記載および80円切手貼り付け) を「〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学疫学健康教育学研究室内「近畿学校保健学会事務局」宛 お送り下さい。
発表申込み	2 会員にはプログラムを記載した学会通信を事前にお届けします。 1 発表者・共同研究者とも正会員であることが必要です。 2 申込み用紙: この「学会通信」に添付しています。 3 申込み締切: 平成13年 3月31日 (必着) 4 申込み方法: ① ファックスによる方法 申込み用紙に必要事項を記入のうえ、ファックスして下さい。ファックス番号は0795-44-2182です。宛名を三野耕と明記して下さい。 ② E-メールによる方法 申込み用紙の記載事項と同様の内容を下記のアドレスに送って下さい。 mino@life.hyogo-u.ac.jp ③ 郵送による方法 申込み用紙に必要事項を記入のうえ、下記の宛先に送って下さい。 〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学 生活・健康系教育講座 三野研究室内 第48回近畿学校保健学会事務局 5 講演集原稿締切: 発表申込者に折り返し送ります。作成要項に従った原稿を平成13年 4月30日 (必着) までに大会事務局へお送り下さい。
学会への新規入会	本学会へ入会を希望する方は近畿学校保健学会の本部事務局 (〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学疫学健康教育学研究室内/近畿学校保健学会事務局/電話・FAX 0795-44-2180/郵便振替口座 01140-8-89516) へその旨ご連絡下さい。

特別行事のご案内

公開教育講演「子どもたちの心の健康と学校の役割」について

講師は浅川潔司先生（兵庫教育大学学校教育学部教授）です。

浅川潔司先生は、発達心理学を専門とし、なかでも教育環境へ移行した際の子どもの新環境適応の過程について研究されています。著書等について、「児童期の共感性に関する発達の研究」、「社会性と人格の発達心理学」ならびに「人生移行の発達心理学」など多数の研究成果を発表されています。また、臨床心理士として学校教育現場での多くの実践をされ、なかでも阪神大震災以後の子どもの心のケアのため多くの学校でのスクールカウンセラーを経験されておられます。先生には、義務教育期間における心の問題の様相と、それらへの学校や教職員の対応のあり方について、不登校や非行の具体的な例を示しながらの貴重なご講演が聴けるものと思います。

特別講演「薬物乱用防止教育の考え方と進め方」について

講師は勝野眞吾先生（兵庫教育大学学校教育学部教授）です。先生は本学会の幹事長をされています。

勝野眞吾先生は、これまでに「思春期における問題行動と健康教育－喫煙、飲酒、薬物乱用の防止－」、「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引き」ならびに「喫煙・飲酒・薬物乱用－その実態と健康教育－」など、薬物乱用に関する著書を数多く発表し、国内外において活躍しておられる教育・研究者です。先生のこれまでになされてきた研究の一端を「薬物乱用防止教育の考え方と進め方」というテーマで学校保健に関わる教育関係者に役立つ内容でご講演いただきます。

シンポジウム『健康・安全に関わる「総合的な学習」の現状と展望』について

荒木勉先生（兵庫教育大学学校教育学部教授）ならびに五十嵐裕子先生（神戸大学発達科学部附属明石中学校養護教諭）に世話人をお願いいたしました。両先生には、シンポジストをはじめ企画全般をお世話いただき、「総合的な学習」、とくに健康・安全を課題にした教育実践の報告をもとに、これからの「総合的な学習」の実践のあり方などについて、それぞれの立場からのご発表を踏まえ、学校保健に関わる「総合的な学習」について活発なご討議をお願いしたいと考えています。

藤井義顕先生の御逝去を悼む

2000年10月6日

林 正（滋賀大学教授）

本学会名誉会員、藤井義顕先生は平成11年5月8日に病氣療養中のところ逝去されました。享年80才。先生は大正7年12月21日に滋賀県守山市に生まれ、昭和16年3月京城医学専門部を卒業されました。昭和16年4月～昭和21年6月まで陸軍軍医、国立京都病院嘱託医として勤務の後、昭和21年7月より現住所（守山市笠原町）にて藤井医院を開設され、今日に至っています。この間には京都府立医科大学薬理学教室にて研鑽をつまれ医学博士の学位を取得されています。本学会の評議員としては昭和55年～平成4年までの12年間をお世話いただきました。また昭和56年には滋賀県でびわ湖国体が開催され、県医師会の会長の立場で第36回日本体力医学会大会の会長も勤められました。記念行事としての「子供の健康と体力」のテーマのもとでのパネル討議を公開し有意義な学会をまとめられました。また平成6年3月には県下の教師用「性に関する指導の手引き」の改訂委員の編集委員長として活躍されました。さらに昭和25年～昭和51年までは守山市野洲郡医師会理事、副会長、会長を勤められ、昭和45年～平成2年までは滋賀県医師会理事、常任理事、副会長、会長を勤められました。この間の昭和61年～63年には日本医師会理事、平成2年～8年までは滋賀県公安委員、委員長、滋賀県学校保健会会長を勤められました。これらの功績により昭和62年には文部大臣表彰を受けられ、平成2年には日本医師会最高優功賞を受賞されています。大変遅くなりましたが、先生の御生前の御活躍に敬意を表し、深く哀悼の意を表します。

故 今井英夫先生のご逝去を悼む

須 藤 勝 見

今井先生に最後にお会いしたのは、数年前、旧大阪教育大学養護教諭養成所ゆかりの者が奈良県橿原市のホテルで会食し、想い出話に花を咲かせた時でした。足腰が少し弱っておられましたが、元気そうなお姿を駅までお見送りして別れました。以後、「時々入院されているらしい」との噂も耳にしておりましたが、昨年7月20日、突然の訃報に接することとなりました。

先生の青春時代は、太平洋戦争に翻弄されたのではないかと思います。昭和16年に大学を卒業された後、紆余曲折を経て、昭和22年に文部事務官として任官され、昭和26年に大阪学芸大学助手に転官されました。大阪学芸大学では保健学科に属されて、教員養成の道に入られました。昭和27年には教育職員免許法改正があり、学士の称号を有する養護教諭の制度が導入されました。大阪学芸大学でも副免許で養護教諭免許を取得する課程認定を受け、その養成を始めましたが、先生はこの時から養護教諭養成に関わるようになられました。

昭和40年3月、国立養護教諭養成所設置法の制定によって、国による養護教諭の計画養成制度が確立されました。昭和41年4月大阪学芸大学に「養護教諭養成所」が付置されましたが、先生は、故伊東祐一教授とともに、設置の立案から施設・設備並びに教育組織の確保に中心的役割を果たされました。設置と同時に教授として学生の教育にあたられるとともに、昭和47年から3期6年間に

わたって所長を務められ、その発展に尽くされました。養護教諭養成所時代の思い出として、伊東祐一所長とともに取り組んだ「温泉が学童の発育や生態生理に及ぼす影響」を研究したフィールドワークがあります。現地で、温泉につかりながら、夜を徹して顕微鏡を覗き込んだのが昨日のことのようです。

この間、文部省の「養護教諭養成に関する委員会」の委員を務められました。また、全国の養護教諭養成機関の情報交換と研究協議の場として、「国立養護教諭養成所協会」の設立と運営に尽力され、「養護教諭の職務内容について（昭和48年）」などの研究成果を公表する等、研究の推進と同会の発展に寄与されました。この会は、後に「国立大学養護教諭養成協議会（昭和54年）」から「日本教育大学協会全国養護部門（昭和62年）」へと改組、発展し、わが国養護教諭界の指導的組織となっています。

国立養護教諭養成所の4年制大学教育学部への改組は、全国関係者の熱望するところでありましたが、先生はその実現に心血を注がれ、対国会並びに文部省との折衝を精力的に行なわれて、昭和50年4月省令改正が行われるにいたりました。これを受けて、大阪教育大学養護教諭養成所は昭和51年4月から大阪教育大学教育学部養護教諭養成課程へと発展的に改組され、先生は引き続き教授として学生の教育に当たられました。

この間、近畿地区における養護教諭養成の中心機関として多くの養護教諭を輩出するとともに、大阪教育大学が指導校となった大阪府立公衆衛生学院（現大阪府公衆衛生専門学校）、大阪女子短期大学、四天王寺学園女子短期大学（現四天王寺国際仏教大学短期大学部）の養護教諭養成機関としての設置に指導、助言を与えられるとともに、学生指導にも従事されました。

昭和58年4月1日付けで大阪教育大学を定年退官され、名誉教授に推挙されました。引き続き大阪女子短期大学教授として学生の教育に当たられるとともに、平成2年4月から同短期大学学監（副学長）として大学の運営に当たられ、平成3年に退職されました。

先生は、学生の教育のみならず、学校保健学における研究においても著しい業績を上げられました。昭和26年大阪学芸大学助手となった頃から筋電図に関する研究に取り組み、これらの研究成果が学校保健学分野の研究にも生かされて、特に戦後変動の著しい学童の栄養や肥瘦に関わる研究、心電図、尿、血液などを指標とした学童の発育、発達や保健管理並びに保健教育に関わる研究などの成果を数多く発表しておられます。

昭和29年の本学会創立に尽力されたのみならず、伊東祐一初代、第2回、第13回本学会長を補佐して学会運営を取り仕切るなど、学会運営に献身的な努力を重ねられ、学会評議員並びに幹事として参画されるなど、本学会発展のために尽くされました。この功績により平成2年に本学会名誉会員として推挙されました。

日本学校保健学会にも設立当初から参画され、昭和35年から同51年まで評議員として学会の発展に寄与され、学会活動に指導的な役割を演じられました。

先生の長年にわたる教育・研究の功績に対し、平成3年11月勲三等旭日中授章が授与されました。

以上のように、先生は長年にわたり、養護教諭の養成を中心に教育関係者の教育、指導に当たられるとともに、学校保健学の研究に携わり、教育界並びに学会の発展、向上のために終始一貫献身的に尽力してこられました。しかし、その温厚な人柄の故に、目立つ存在であったと申すよりも、

人の上に立つことを極力控えるご性格であったとお見受けいたしました。ために、長年本学会に関わり、指導的な役割を演じてこられたにもかかわらず、また、度々その機会があったにも関わらず、本学会の学会長を引き受けることなく、裏方として精力的に動き回るお姿だけが印象に残っております。一度は学会長として華やかな光を浴びてほしかったのに、その実現に力の及ばなかった筆者をはじめ、関係者の不徳のいたすところと悔やまれるところです。

21世紀を迎えた今日、これからの学校保健の更なる発展を、養護教諭の活躍を、天国から暖かく見守り、声援を送ってください。21世紀を生きる者として、先生のご意志を継いで、頑張ります。

先生のご冥福を、心よりお祈りいたします。

故 今井英夫先生 略歴

大正6年9月27日生

昭和10年3月 奈良県立畝傍中学校 卒業
昭和16年12月 日本大学工学部工業化学科 卒業
昭和17年1月 大阪陸軍被服支廠入廠
昭和22年4月 文部事務官 文部省教育施設局大阪出張所
昭和26年4月 大阪学芸大学助手
昭和29年12月 大阪学芸大学講師
昭和36年4月 大阪学芸大学助教授
昭和41年4月 大阪学芸大学養護教諭養成所教授
昭和42年6月 大阪教育大学養護教諭養成所教授（学名変更）
昭和47年4月 大阪教育大学養護教諭養成所長を併任
昭和53年4月 大阪教育大学教授教育学部
昭和58年4月 定年退職 大阪教育大学名誉教授
昭和58年4月 大阪女子短期大学教授
昭和63年3月 大阪女子短期大学定年退職
平成2年4月 大阪女子短期大学学監教授
平成3年11月 勲三等旭日中授章受章
平成3年3月 大阪女子短期大学学監教授退職
平成12年7月 呼吸不全により逝去 享年83歳

平成12年度第3回幹事会議事録

日 時：平成12年12月9日（土）午後2時～4時

場 所：大阪教育大学天王寺学舎

出席者：猪尾、石川、板持、上延、勝野、北村、白石、武田、寺田、南條、林、堀内、
松岡（弘）、三野、宮下、八木、山本（暎）（敬称略、50音順）

審議事項

1. 第48回近畿学校保健学会（兵庫）企画について

三野耕学会長（兵庫教育大学教授）より第48回近畿学校保健学会の企画案が示され、承認された。

2. 次期学会（第49回）の開催地および会長について

次期第49回近畿学校保健学会を大阪府で開催することが承認された。なお、年次学会長は大阪府で検討いただき、次回の幹事会で審議することとされた。

3. 近畿学校保健学会50周年記念事業について

近畿学校保健学会50周年記念事業についての企画委員会での審議経過が勝野企画委員長より報告され、今後さらに検討を続けることとされた。

近畿学校保健学会50周年記念事業第2回企画委員会議事録

日 時：平成12年9月16日（土）午後2時～4時

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス

出席者：五十嵐、勝野、北村（庄）、白石、武田、林、藤居、八木（敬称略、50音順）

審議事項

近畿学校保健学会50周年記念事業について種々議論された結果、以下のように進めることが決められた。

1. 近畿学校保健学会50周年記念事業として次の3事業を骨子とする。

(1) 記念誌の発行

(2) 年次学会とは独立に本学会内部だけでなく市民や行政、関連分野にも広く働きかける公開のシンポジウムあるいは公開講座の開催

(3) 記念年次学会における記念事業

2. (1)については、
 - a. 学会50年間の関連資料（各年度口演集、学会通信など）の整理・分類
 - b. 学会のあゆみおよびこれからの展望に関する寄稿
(現および既役員、評議員、会員3師会、関連分野からの寄稿で構成)
の2つを主な内容とし、
 - a. については学会の歴史的資料の入手に関しては武田、白石委員、3師会関連資料の入手に関しては一色、藤居、北村（庄）委員、養護教諭関係は五十嵐委員、そして口演集・学会事務関連資料のリスト作成は勝野委員がそれぞれ担当して基礎作業を行うこととされた。
 - b. については寄稿の依頼先について、各企画委員の意見を集約することとされた。
3. (2)については、林委員が原案作成を担当することとされた。
4. (3)については第50回年次学会担当県の意向を尊重し、今後具体案を作成することとされた。
5. 以上の企画案について次回の企画委員会で審議し、予算規模や経費確保方法について審議することとされた。

近畿学校保健学会50周年記念事業第3回企画委員会議事録

日 時：平成12年10月9日（土）午後2時～4時

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス

出席者：五十嵐、勝野、北村（陽）、白石、武田、林、藤居、堀内、宮下、八木

（敬称略、50音順）

審議事項

近畿学校保健学会50周年記念事業について種々議論された結果、以下のように進めることが決められた。

1. 記念誌に関しては、武田委員に編集委員会委員長をお願いし、次回の企画委員会に武田委員長から編集委員会の構成についての原案を出していただくこととされた。
2. 記念行事については、年次学会とは独立に本学会内部だけでなく市民や行政、関連分野にも広く働きかける公開のシンポジウムあるいは公開講座の開催などが考えられるとし、林委員から基本的な考え方が提示された後、種々議論され、次回以降さらに検討することとされた。
3. 記念年次学会における記念事業については記念年次学会が予定されている奈良県の北村（陽）委員を中心に原案を考えていただくこととされた。
4. 記念事業に関する予算原案については、勝野委員が原案を作成して次回委員会で検討することとされた。

近畿学校保健学会50周年記念事業第4回企画委員会議事録

日 時：平成12年12月9日（土）午後4時～5時

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス

出席者：五十嵐、勝野、上林、北村（陽）、白石、武田、林、堀内、宮下、八木

（敬称略、50音順）

審議事項

近畿学校保健学会50周年記念事業について継続審議された結果、以下のように進めることが決められた。

1. 記念誌に関しては、武田委員を中心に継続して検討いただくこととされた。
2. 記念行事については、広く学会員から意見を求めて、それを参考にして企画を進めることとされ、学会通信98号にアンケート調査用紙を掲載することとされた。
3. 記念年次学会における記念事業については引き続き奈良県の北村（陽）委員を中心に原案を考えていただくこととされた。
4. 記念事業に関する予算原案については、引き続き検討して原案を作成し、幹事会、評議員会、総会の議を経て決定することとされた。

近畿学校保健学会50周年記念事業の一環としての記念行事 の開催についてのアンケート調査について

担当 林 正

あけましておめでとうございます。

50周年記念事業第2回企画委員会におきまして、年次学会とは独立して本学会内部のみならず、市民や行政、関連分野にも働き掛けて公開シンポジウム、また公開講座を考えてみてはどうかという案がだされました。これらの実行には当然予算がともないますので、開催の内容や規模、場所によっては制約されることはいうまでもありません。

予算については来年度より計画されていくと思いますが、基本的にはボランティア活動の精神で、シンポジウム、講座を考えなければならないと思います。この際会員の皆様の意見を聴取してより有意義なものを考えたいと思いますので、FaxまたはE-mailでの回答を宜しくお願い致します。

なお、集計の都合上3月末日までに回答をお寄せください。

----- 切り取り線 -----

近畿学校保健学会事務所 宛

F a x 0795-44-2180

E-mail skatsuno @ life. hyogo - u. ac. jp

以下の番号に○印をつけてください。

1. 公開シンポジウムを開催
2. 公開講座を開催
3. 年次学会とは別に行う（公開シンポ）
4. 年次学会と共催で行う（公開シンポ、講座）
5. テーマについて

（例 21世紀を展望した学校保健、21世紀における健康教育の充実）

--

6. その他（御意見を自由にお書きください）

--

(1 題 1 葉に記入して下さい。下記の注意を守って下さい。)

演題名			
発表者氏名 所属 (連名のときは演者名の前に○印, 新入会員には*印をつけて下さい。)			
連絡先 郵便番号		住所	
電話番号		FAX番号	
氏名			
発表要旨 (100字程度)			
キーワード ()			
注 意 1. 申込締め切り: 平成13年3月31日(必着) 2. 申込先: ①FAXによる方法/番号0795-44-2182 (三野 耕 宛) ②Eメールによる方法/mino@life.hyogo-ac.jp ③郵送による方法/〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学 生活・健康系教育講座 三野研究室内 第48回近畿学校保健学会事務局 3. 申込者には事務局から講演集用の原稿作成要項をお送りします。 4. 申込用紙の不足のときはコピーして使用して下さい。 5. 記載事項の訂正はできませんのでご了承下さい。 6. その他については開催事項をご覧下さい。			
事務局使用欄	受付番号	返送日	月 日
演題番号			
発表時刻	から	まで	